

やまもと 義

# 山本よしかず 県議会報告

## 山本よしかず第一回県政報告会が盛会裏に終える

山本よしかず県政報告会を7月26日(土)に東金文化会館にて開催したところ、事前申込者数が1,400人余りと収容定数を大幅に超えたことから、ご来場頂く皆様全員に楽しんで頂きたく、ロビーにテレビモニターを設置して対応したところ、1,200人余りの皆様にご来場いただきました。

来賓として、森田千葉県知事、阿部県議会議長をはじめ、北村市長、国会議員、県会議員など多くの皆様にお越しいただき、また、三原じゅん子参議院議員に講話をしていただきました。

さらに、地元「八街市出身のモロ師岡氏」の講演によって盛会裏に終えることができました。

私の県政報告が時間の都合により、政務活動と想いを伝えることが出来ない部分もありましたが、今後も県政とふるさと八街のために、今できること、鋭意努力し、頑張ればできることを積み重ねることが、「農業・工業・商業」の連携による創造的な発展につながるものと信じ、一生懸命取り組んで参ります。

終わりに、私の県政報告会にご来場いただいた観客の皆様並びに来賓の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



東日本大震災の体験を踏まえ、地方自治体が緊急に実施する防災・減災事業の財源を確保するため、全国的に個人住民税「県民税・市町村民税」の均等割が五〇〇円ずつ十年間引き上げられることになりました。均等割が五〇〇円のご理解ご協力をお願い致します。

平成二十六年から個人住民税の均等割が引き上げられました



## 6月定例県議会自民党代表質問

### 平成25年度の一般会計の収支見通しはどうか。

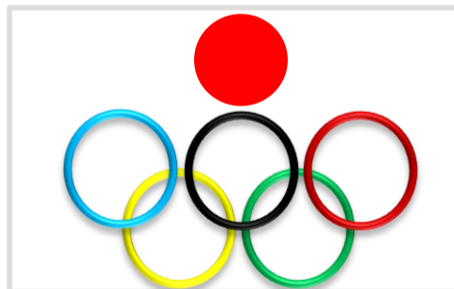
歳出面では、執行時に経費の節減などに努め、また、歳入面においては、景気の回復が続いていることなどにより、個人県民税や法人関係税などの県税収入等が例年よりも大きく増加していることなどから、150億円程度と大幅な収支の改善が見込まれています。

### 東京オリンピック・パラリンピックへの対応に向けた基本方針はどのようなものか。

世界に千葉のイメージやセールスポイントをアピールするため、表示物などを分かりやすく示すとともに「キャンプ地誘致」や道路・鉄道などによる「人と物のスムーズな流れの確保」、「魅力ある観光地づくり」など、具体的な戦略を展開するための「推進本部」を秋頃を目途に立ち上げ、分野ごとの基本方針に沿って、県民全体がそれぞれの「分野で力を生かせるよう具体的な戦略を検討し、同じ意識と方向に向かって「オール千葉」体制で取り組みます。

### 東京オリンピック・パラリンピック選手への育成に対する本県の考え方及び育成をどのようにするのか。

「千葉県体育・スポーツ振興条例」に基づいて関係団体等と連携して育成した選手が世界のひのき舞台上で活躍できることは、子ども達に大きな夢と自信を与えるものと考え、本年度新たに「めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業」を立ち上げ、特に期待される選手には、「特別強化支援」として、国際大会等の視察や外部指導者の活用など、個々の選手に対応した効果的な支援を推進することによって、「郷土への愛着を深め」、「スポーツ立県ちば」の実現に大きな効果をもたらすものと確信しています。



### 国の調査によると、本県の人口が3年ぶりに増加に転じたことをどのように受け止めているのか。

本県は、東日本大震災の被災県であり、震災以降、転入者が大きく減少しましたが、昨年10月現在の推計で、3年ぶりに社会増に転じたのは、除染や風評被害の払拭など関係者の地道な努力と震災で停滞していた住宅供給が復活してきたものと考えています。

今後も「暮らし満足度日本一」を目指しつつ、人口増加に向けた取組みとして、子どもを産み育てることの素晴らしさを若い世代に知っていただくとともに、子育て支援の充実、地域の特性や実情に合った地域産業の活性化などの施策展開を図っていくことが重要と考えます。

### 新たに整備される消防学校・防災研修センターの特徴は何か。

今回の整備は、消防職員・団員及び自主防災組織などが、より実践的な教育訓練が実施できる施設等を充実・強化する点が特徴で、具体的には、倒壊した建物や煙により視界不良となったビル・地下街など、様々な災害現場を想定した訓練施設等を新たに整備します。

また、防災研修センターにおいては、実践訓練等を行うことにより、地域防災の担い手である自主防災組織や企業の自衛防災組織等の防災力の充実強化を図ってまいります。

### 国が3月に首都直下地震に対する基本計画を策定したが、本県はどのように対応していくのか。

本県では、地域防災計画に基づき、従前から取り組んでおりますが、県全域が緊急対策区域に指定され、首都直下地震等に備え、さらなる充実強化が求められているため、新たに広域的な応援を受け入れる体制整備や、帰宅困難者への迅速な災害情報の提供などを着実に実施するため、実施計画の策定に取り組む国に対して、必要な財政上の措置を講じるよう要望してまいります。

**重度心身障害者医療給付改善事業における現物給付化に向けた進捗状況はどうか。**

現物給付化へ向けて、複数回にわたり市町村へ意向調査を実施したところ、9割以上が望んでいることから、制度の具体案の取りまとめに向けて市町村及び関係団体と協議を重ねた結果を踏まえ、平成27年8月から実施したいと考えております。

**重度心身障害者医療給付改善事業における自己負担や助成対象の見直しについての検討結果はどうか。**

市町村等との協議結果を踏まえ、制度対象外の方との公平性の観点から子ども医療費助成制度と同じく、低所得者を除き、通院1回、入院1日につき、300円を負担していただく予定です。

また、制度の見直し以降に65歳以上で新たに重度障害となられた方を対象外としたいと考えています。

今後は、市町村や関係団体と詳細部分の調整を行ってまいります。

**医師・看護師確保対策における千葉県医師・看護職員長期需要調査の結果と今後、どのように取り組んでいくのか。**

今回の調査では、平成37年に見込まれる医師数が1,170人不足し、看護職員が15,150人不足する結果となりましたが、本県では、医師・看護職員の養育力の強化、県内就業への誘導などの様々な対策を講じており、本年度の県内病院への初期研修医の内定者は、全国最多の増加数となっていることから、今後、県内に定着する医師の増加が期待されています。

また、看護師養成学校の新設や定員増の支援により、増加に向けても一定の成果が現れてきていますので、今後も有識者や現場の意見も伺いながら、効果的な対応策を講じ、積極的に取り組んでまいります。



**「(仮称)千葉県動物愛護管理条例」に期待される効果はどうか。**

この条例により、県民の動物愛護精神が高まり、動物が適正に飼育され、騒音や悪臭などの近隣住民とのトラブルの減少、動物による人への危害の防止などが図られるとともに、犬猫の殺処分の減少も期待をされています。

**県内中小企業に対する県の認識及び今後の取組みはどうか。**

本県経済の成長を支える存在であり、また、地域社会の担い手として、県民生活の向上に大きく寄与するものと認識しています。

なお、昨年度に策定した「明日のちばを創る！産業振興ビジョン」では、今後の成長産業である中小企業へ積極的に参入し、機器開発等への助成等の支援策を示したところです。

また、「第三次ちば中小企業元気戦略」の策定に取り組んでおり、中小企業の振興と地域の活性化との好循環を図るための支援策の検討を進めているところです。



**ちばアクアラインマラソンを活用して、どのような観光振興を図るのか。**

夏の観光キャンペーンPR大使による周知活動と県内観光地等の情報発信を行い、また、イベント会場では県産品が当たる観光物産展等を開催することで、千葉の魅力とおもてなしの心を広く発信し、さらに、ランナー全員に県内各地の宿泊施設で来年2月まで利用できる宿泊優待券を配布し、県内への誘客を図るものです。

**豚流行性下痢 (PED) の発生状況はどうか。また、感染拡大を防ぐため、県ではどのような対策をとっているのか**

本県では100農場で約12万頭が発生しており、豚流行性下痢の感染拡大防止のため、発生直後から発生農場に対する発症豚の出荷自粛の要請、全農家に対する衛生対策の強化や消毒ポイントの設置などの対策を講じ、また、農家が必要なワクチンを迅速に確保できるよう、関係団体と調整を図りながら、適切な接種方法を指導しておりますが、今後も継続的な防疫対策を講じてまいります。

**本県の農地中間管理機構の活動状況はどうか。**

本機構の活動としては、地域農業の実情に精通した市町村や農業委員会と連携して、借り受け農地を保全管理し、まとまりのある形で担い手に貸付けることによって、農地集積と耕作放棄地の発生防止を図れるものと考え、本年8月に第一回目の公募に向けて、制度の周知に取り組み、機構の活動を通じて農地の集積が円滑に進むよう支援して参ります。

**圏央道の全線開通に向けた取組はどうか。**

圏央道の早期全線開通を目指すよう国へ強く求めております。

なお、去る4月12日に茨城県稲敷ICから神崎ICまでが開通し、さらに、神崎ICから大栄間の10kmが今年度内に開通する予定で、残る、大栄から横芝間については、国において用地取得に着手しており、県も円滑に進むよう協力して早期全線開通を目指して参ります。

**現在、策定している「都市計画見直しの基本方針」の基本的な考え方は、どのようなものか。**

概ね10年ぶりに都市計画の見直しとなりますが、今後の人口減少や高齢化、道路網の整備などの社会経済情勢の変化に適切に対応できるよう医療・福祉、商業などの生活に必要な施設を駅周辺や地域拠点に集約させたコンパクトな街づくりを基本的な方向とし、さらに、圏央道や外環道、北千葉道路等の広域道路整備の進展を踏まえ、インターチェンジ周辺等に新たな産業を集積させ、地域の活性化を図るとともに、防災力を向上させた災害に強いまちづくりなどを目指すものです。

山本よしかず県政報告会に来賓の皆様、観客の皆様が会場いっぱいにお越し頂きました。



「芸人から俳優人生三十年」と題して、地元「八街市大谷流出身のモロ師岡氏の巧みな話術で会場が大変盛り上がりしました。



ヨッシー君

☆ 千葉県や八街市に対してのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

**山本よしかず**

県議 〒289-1116 八街市中央20-11  
TEL、043(440)7070  
事務所 FAX、043(440)7030

参議院議員御二方と記念撮影を(ちょっと緊張ぎみの山本県議)

HPもご覧ください。...

検索



ホームページ:<http://www.y-yy.jp/>



